

令和6年度タウンミーティング 大野地区

開催日時 令和6年6月8日(土) 15:00~16:30

開催場所 守谷市役所 大会議室

出席者 市民29名

議事内容および要旨

【開会】

【市長挨拶・説明】

資料「未来へつなぐもりやビジョン」に基づき説明

【主な意見と回答】

(参加者)

ヤクルト2軍施設、スマートインターチェンジの設置などにより、子どもたちの通学路や地域の住民の交通安全が心配です。ヤクルトファンの方を含めて、他地域からの人たちを市ではどのように現地まで導こうと計画しているかお聞かせください。

(市長)

現段階では交通アクセスの問題というところまでは検討に至っておりません。現在は、地権者の皆様の合意を得ることを第一に進めている状況です。用地買収が完了すれば、ヤクルト側で事業を進めることができます。そうなれば、市側も色々なことができるようになりますので、交通安全対策について、1、2年かけて、まちづくり協議会の皆様や地元の皆様と協議させていただく場を作り、ご意見を頂戴した上で考えてまいりますので、その点をご安心いただきたいと思います。

(参加者)

ヤクルト2軍球場と隣接して公園を作ろうということで、現在、用地買収に入っていると聞いていますが、どのような形で公園が作られる予定ですか。市が公共施設を所有するとそれは負の遺産になると思います。近年では、ネーミングライツの活用が主流となっています。市としては、どのように考えていますか。

(市長)

今後、財源確保が難しい時代になったときには、公共施設単体で経費を維持していくような時代ではないと思っています。PPP(官民連携)などの様々な形で事業展開していく時代でもございますし、財源を生み出していく必要があると思っています。総合公園については、まだこれから計画をしていくところですが、官民が連携した事業形態または、民間事業者の進出に向けて、今後、検討していきたいと思っています。

(参加者)

農地と農地の間が舗装されていないため歩きにくい道があります。私の家の横の道も舗装されておらず、近所の人たちからも同様の声があがっています。狭いという理由もあるかと思いますが、シニアの方々が歩きにくいですし、車いすも押すことができません。そのような道を舗装していただけないでしょうか。

(市長)

それぞれ地権者の方がいらっしゃると思いますので、その関係者の方々と話をしていただき、その上で、書面的なものを添えて、担当課に提出いただきたいと思います。

(参加者)

CRMについて具体的にどのようなことを考えていますか。

(市長)

CRMとは、民間で採用されているような顧客管理システムであり、市民と行政が繋がることを想定しています。市民が行政と繋がっているという安心感を得られるとともに、市側としても多くの市民と繋がっているからこそ、多様な意見を収集することができますので、声の大きい人たちの声だけを拾うのではなく、できるだけ多くのご意見を拝聴することによって、より民主的な手法で行政運営ができるのではないかと考えておりますので、そういう意味でCRMを導入したいと考えております。

(参加者)

総合公園設置に伴いロープウェイの構想があると聞きました。具体的にはどのような構想ですか。

(市長)

総合公園、今計画をしているサービスエリア周辺区画整理事業地内に、どのように人の移動手段を確保しようかと検討している中で、国土交通省から先導的官民連携支援事業として採択を受けました。これを受け、民間事業者から、官民連携でどのような手法があるかというような中で提案をいただいたものであり、決定しているものではありません。市側でも検証しなければならない点が多々ありますので、ある程度状況がつかめてまいりましたら、地域の方にご相談するなり、しかるべき手続きで市民の皆様と協議の場を作りたいと考えております。

(参加者)

市で進める各種プロジェクトについて、各地区から代表者を出すなどして、意見を取り入れて進めていくような考え方が必要ではないか。

(市長)

各種審議会等では、すでにそのようにしております。ただ、行政は平日昼間に会議が行われることが多いため、仕事をしている世代の方が出席することができないという弊害があり、その弊害を解消するために、Zoom等での参加や土日開催等の工夫をすることで、間口を広げた中で皆様のご意見が拝聴できるような場づくり努めてまいります。女性や若い世代の人たちが参加していただける場づくりを進めていかなければならないと考えています。

(参加者)

アジュール跡地を購入しましたが、しばらく利活用はしないのでしょうか。地域住民としては、利活用されない状況では、防犯、安全性の点で心配です。

(市長)

アジュール跡地の利活用については、近々、公募をする予定となっております。

(参加者)

下ケ戸地区は、駐車場がなく不便です。どうにかならないでしょうか。また、TXと都市軸道の間には森林があります。この場について、今後、緑を守りつつ、防災拠点としても使えると考えています。また、子育て世代の方々が立ち寄れる、ちょっとした公園、それから、元気に暮らしたいという高齢者の散歩道、様々な利活用が可能ではないかと周りの方々と話をしており、今後、市に相談に伺いたいと考えています。

(市長)

ご指摘の場所は、私も何とかできないかと考えていました。何らかの形で自然を残すことと、まさしく散歩道ではないですけれども、そういうことと両立できるようなものできないかと近くを通る度に思っております。下ケ戸地区では、確かに駐車場の問題はありますので、今後、一緒に考えさせていただければと思います。

(参加者)

今後、高齢化が進み独居老人が増えてくるのが容易に考えられます。守谷市については、空き家問題はないと聞いていますが、ワンストップでデータ管理ができるような組織を考えなければならないと思います。今ある資源をどう活用するか、空き家を有効活用していくことが、市にとって非常に大事なことだと思いますので、今はなくても何らかの形で考えていった方が良いのではないのでしょうか。

(市長)

先日、空き家が散見されるみずき野地区の皆様とお話しする機会があり、行政と不

動産屋等になるのかは分かりませんが、空き家所有者に何らかの形で働きかけをして、空き家を手放していただく、又は貸していただくというようなことに誘導していこうとお話をさせていただきました。地域の中でご理解をいただきながら、行政も空き家に対する対応策を考えていかなければと思っております。

(参加者)

児童の通学路のことですが、黒内小学校の件も含めて、通学路の問題が増加していると感じています。新守谷駅周辺の土地区画整理事業が完了した際には、御所ヶ丘小学校まで通うことになると思います。長距離になりますので、通学路の歩道を整備し、誘導していただけたらと思っております。

【市長】

子どもたちの安全安心は、第一に考えなければならないことですので、ご要望等々があれば、まちづくり協議会で取りまとめて提出いただければ対応策等を考えてまいりたいと思います。

(参加者)

学校でのいじめについて、保護者の中で言った者が勝ち、強く出た人が優位に立つなど、それから告訴じゃないですけど、弁護士を立てるということで、相手を威圧するような行為があることを耳にしました。また、学校教育の中で先生が疲弊しているというような報道を聞きました。そのようなことについて、教育委員会では、現状を把握していますか。先生から相談しやすい環境になっていますか。

(市長)

いじめ防止法の中での加害者・被害者ということと、世間一般でいう加害者・被害者というのは、少し異なるのではないかと感じています。法的なもので縛られることによって、先生方も非常に困っているという話は聞いております。そういう中でスクールソーシャルワーカーもそうですが、スクールロイヤーもきちんと連携をさせていただいて、色々な問題に対して法的なものも相談できる体制を作っています。

(参加者)

黒内小学校過大規模校の件について、予想と現実の違いについてお教えてください。

(教育部長)

これまでに2度増築しており、令和3年に最後の増築を行いました。ところが、令和4年に特別支援学級の児童が急に増えまして、今まで3教室でしたが7教室に増えました。予測と違うということで、改めて民間事業者に調査を委託したところ、もう

少し増えるかもしれないと報告がありました。もしかすると、令和7年4月から教室が足りなくなってしまうかもしれないという予測から、通学区域の見直しやスクールバス導入による学校選択制度について、進めているところです。

(参加者)

大野小学校は児童が少なく、自然の中でゆったり学んでいますし、体力的にも守谷市内で1番というような中で、他の地域から大野小学校に通わせてみたいという方もいるのではないのでしょうか。一か所に偏るのではなく、守谷市全体の中での受け皿としていただければと思っています。

(教育部長)

黒内小学校区の保護者の皆様には、強制ではなく、保有教室に余裕がある他校であれば受入れが可能ですというご案内等もさせていただいておりますので、もし大野小学校に行きたいという保護者の方がいれば、その際は、地域でも温かく迎えていただければと思います。

(参加者)

能登半島地震の際には、交通が分断され物資の不足が報告されていきました。守谷市では、利根川をうまく利用して物資の運搬を行うことができないのでしょうか。

(市長)

河川を活用した物資の運搬について国と話してみたいと思います。

(参加者)

城址公園や森林公園、立沢里山や野鳥のみちなど恒久的に利用できるような資源を市民の財産として残せないのでしょうか。

(市長)

都市公園の維持管理に都市計画税を充てさせていただいておりますが、年間4億円程度かかっています。緑を守っていくことは、お金がかかります。そのため、財源をどのように確保していくかということが、緑を守っていく上で非常に大切なことなんだろうと思っています。ふるさと納税を活用して土地を買うということはできますが、買うだけではその後の維持管理に費用がかかりますので、恒久的な財源を見つけ、それらを充てることによって、緑を保全できるような仕組みを考えていかなければならないと考えております。

(参加者)

子どもの通学がとても心配で、事故の話を聞くたびに、明日は我が身なんじゃないかという気持ちで毎日送り出し、帰りを待っている状態です。ですから、歩道、車道の制限など、安全安心のための取組を期待しておりますのでよろしくお願いします。

(市長)

まさしく子どもたちが、守谷市の未来であると考えていますので、私も全力で子どもたちの健全な育成、そして安全安心に取り組んでいきたいと思えます。県や警察にもしっかり働き掛けをしていきますので、要望等をまちづくり協議会へ伝えていただければ、できる限りのことはさせていただきますので、よろしくお願いします。

(参加者)

通学路の件、実際に通学路を歩いて危険箇所を確認し、まちづくり協議会に答申を頂戴しています。本来であれば、各部署への割り振りが必要なんだろうが、まとめて教育委員会宛に提出し回答いただきたいと思えますのでよろしくお願いします。

(教育部長)

教育委員会にまとめて提出いただいて、問題ございません。

【市長挨拶】

皆様、本日は、大変ありがとうございました。本日、貴重なご意見をいただきましたので市政に生かしていきたいと思えます。今後も、皆様からご意見をいただきながら市政運営を行っていききたいと思えます。引き続きよろしくお願いします。